

2月、入試シーズン真っ盛りです。本学でもさまざまな入試を行っていますので、私ども、入試に関わる者は、1〜3月の殆どの日曜日は入試に捧げる生活になります。

入試改革は、ここ数十年延々と続けられ、現在は、多様な入試を行い、多様な人材を得ることが求められています。しかし皮肉なことに、その成果よりも「何故、入試改革はいつも失敗するのか」といったような見出しの論文を目にすることのほうが多いのが現状です。今回、センター試験も改変が予定され、新しい大学入学共通テストでは、記述式問題の導入、英語における民間試験の活用が検討されています。こういった統一テストは、1979年から共通一次試験として始まりました。その試験は、それまでの入試の難問・奇問の弊害を是正し、基礎学力を評価するために導入されたという意味もありますが、一次の名の通り、それだけで選抜を行うことは想定されておらず、一定の基礎学力を一次試験で担保したうえで、各大学が論述試験を含めたきっちりとした二次試験を行って、その大学の方針に合った学生さんを選抜することを意図していたと思います。そういった意味の統一試験であれば、今回予定されている改革も？ です。

改革という言葉はとても響きがよく、どこの分野でも、改革とさえ唱えていれば評価される、という風潮があります。2000年初頭、政治・経済の分野を席卷した「聖域なき構造改革」が何をもたらしたかはご存じの通りです。また、日本の院内薬局制度は、患者さんにとって有益な制度として、他国からは羨望視されていましたが、医療改革の結果、ほぼ消滅させられました。医療費削減効果も一つの理由でしたが、結果は逆です。臨床研修制度改革、専門医制度改革はどうでしょうか。カリキュラム改革も入試改革と似たところがあります。アクティブ・ラーニングの取り入れを盛んに求められますが、能動的に学習する姿勢を身につけるという意味では、現在のいわばスプーン・フィーディングのアクティブ・ラーニングよりも、ずっと昔のカリキュラムのほうが、それを実現していたようにも思います。

いずれの改革にも共通しているのは、机上の考えを基に観念論的に物事を推し進めている点です。私どもは、診療、教育、研究で常によりよい結果を求めて trial and error を繰り返しながら漸次改善を積み重ねようと努力しています。ただ、あるところでその改善を、一方向に一挙に押し進めることが必要な場合があることも確かです。それを改革というのであれば、改善のみならずエラーも増幅する危うさを常に考え、謙虚に取り組む必要があります。

「皮膚科の臨床」も改善の努力を積み重ねていきますが、向こう受けするような雑誌改革という言葉は避けたいと思っています。

(土田哲也)

— 顧 問 —

肥田野信 大原國章

— 編集委員 —

大塚藤男 土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和

「皮膚科の臨床」第60巻 第2号 2月号

2018年2月1日発行（毎月1回1日発行）

定 価（本体 2,700 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 42,100 円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。